

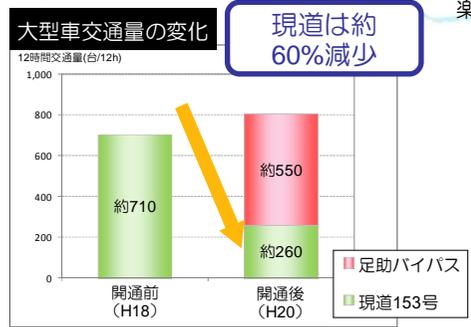
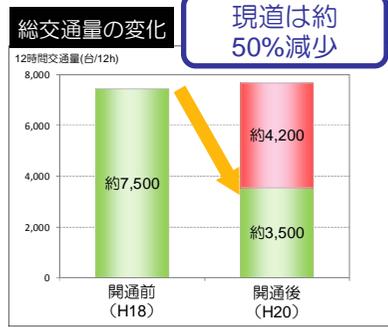
市街地の交通量が減少、現道の歩行者がより安全に

- 豊田市足助中心市街地では車道や歩道の幅員が極めて狭く歩行者が危険
- 急勾配やヘアピンカーブなどの危険箇所の存在



- ・バイパス効果で、中心市街地の交通量が半減
- ・渋滞時における緊急車両の通行確保、走行性の向上により、旭・稲武地区から足助病院への搬送にバイパスを利用
- ・通過交通の減少により、夜間騒音が11dB減少し、沿道の生活環境が向上

生活交通と通過交通の分離

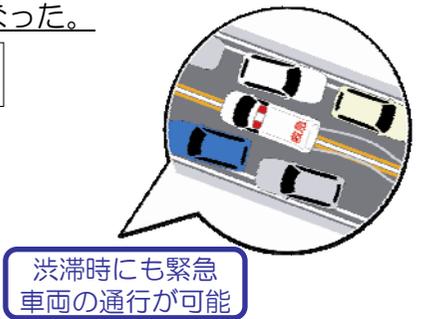
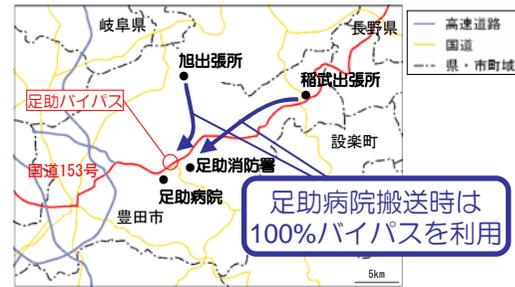


H18・H20交通量調査より
・市街地を通る交通量が半減、大型車は約60%減少した。

交通量が減り、通学時は以前より安全に感じる。
大型車が少なくなって安全に感じる。
「アンケート調査より」

渋滞時における緊急車両の通行確保、走行性向上

- 足助病院への救急搬送時の足助バイパス利用状況
 - ・旭・稲武地区から足助病院へ搬送する場合は100%バイパスを利用
- 開通による消防・救急活動への影響 (消防署ヒアリングより)
 - ・通常で3~5分、所要時間が短くなった。



生活環境への影響

- 沿道の夜間騒音が減少
 - ・大型車・通過交通の減少の夜間騒音が11dB減少

夜間の騒音が少なくなり夜眠れるようになった。
「アンケート調査より」

